



2017-2021年度文部科学省「留学生就職促進プログラム」

グローバル・リーダーシップ・プログラムについて

「グローバル・ハタラクラスぐんま」プロジェクト

企画・運営責任者 結城 恵(大学教育センター)

ねらい

群馬県内の企業に就職を希望する外国人留学生が増えています。このプログラムは、地域の自治体や産業界と連携して、その夢を実現するための応援をするプログラムです。全国で選ばれた12の大学に対して、文部科学省から重点的な支援を受けて実施されるものです。

対象

私費留学生を対象としています。学部1年生から博士課程在籍者まで参加できます。私費留学生以外の留学生も参加できる科目があります。カリキュラム情報に注意してください。

特徴1

あなたが自分の力で群馬県内の企業への就職活動を進めて自分の夢をつかめるように、外国人留学生を対象に特別カリキュラムを提供します。その特別カリキュラムは、「ビジネス日本語」「キャリア開発」「インターンシップ」です。受講証明書あるいは単位がでる科目です。

特徴2

あなたにとって、群馬県が生涯を通じて心の故郷になるように、そして、群馬県の企業でのみなさんの仕事が、群馬から世界の懸け橋になるように、県内の企業経営者や自治体、NPOや地域住民のみなさんと一緒に活動する機会を提供します。一生心に残る出会いを見つけてください。

特徴3

このプログラムには、県内の10高等教育機関が連携しています。また、このプログラムに参加してきたOBOGが県内外から応援に駆けつけてくれます(※3)。群馬県にいながら県内外の異なる大学の現役生やOBOGとのネットワークを広げることができます。

特徴4

このプログラムは、土日や休業中に活動日が設定されることも少なくありません。経済的な負担を軽減し、プログラム参加に集中できるように、日本学生支援機構(JASSO)学習奨励費奨学金または日本国際教育支援協会(JEES)奨学金が支給されます。両方ともに、群馬県内の企業に就職する強い意志を持っていることと、本プログラムに参加することが必要です。

グローバル・リーダーシップ・プログラムに参加する方法

参加するには

「グローバル・リーダーシップ・プログラム」の趣旨に賛同のうえ、このプログラムが提供する教育カリキュラムに登録してください。教育カリキュラムには、次の3つの科目があります。

キャリア開発

ビジネス日本語

インターンシップ

①私費留学生のみなさんで群馬県内の企業への就職に関心のあるみなさん

「ビジネス日本語」「キャリア開発」「インターンシップ」の3つの科目の合計3科目です。

■学習奨励費(就職促進)を希望する留学生は、上記3つのグループから1科目ずつ、合計3科目の授業を必ず履修してください。学習奨励費(就職促進)の需給が決定した場合、人数制限のある「ビジネス日本語」の科目も優先的に登録されます。

■学習奨励費(就職促進)を受けない留学生も、履修登録はしておいてください。ただし、「ビジネス日本語」は、人数制限があるため、日本語能力試験の成績及び面接等で選考する予定です。したがって、履修を希望しても履修が許可されない場合があります。その場合には、来年度の履修に挑戦することにしてください。代わりに、ビジネス日本語を自学自習できる方法をご紹介します。

■「インターンシップ」の履修は、「ビジネス日本語」科目と「キャリア開発」科目の履修が終わっていないと参加できません。シラバスについては、群馬大学教務システムを参照してください。

②上記①以外のみなさん

「キャリア開発」科目のみ受講可能です。

【重要】地域での実習等も頻繁にありますので、本プログラムに参加する留学生は、必ず、学務部学生支援課で取り扱う、学生教育研究災害傷害保険(通称「学研災」) フィールドワークやインターンシップに対応できる保険に加入しておいてください。加入していない場合には履修ができません。

※ 群馬大学「学研災」HP <http://www.gunma-u.ac.jp/studentlife/stu002/g1981>



グローバル・リーダーシップ・プログラム 受講すべき授業等について

キャリア開発

【前期集中】 教養教育 日本事情C LB1911 まちづくりとグローバル・コミュニケーション

地域の企業・行政・ボランティアなど多様な地域のみなさんと一緒に、県産品を使った食のプロモーション、観光インバウンド等のまちづくりに貢献する地域活動に参画します。そこで求められる、企画・立案から実践、実践の振り返りから次の企画への準備に至るまでの、合意形成・調整・問題解決など、さまざまな局面で求められるコミュニケーションを実践し、そのあり方を考えていきます。月1～2回で、土・日・祝日等を利用して開講する予定です。開催地が2つあります。どちらかを選んで参加してください。

【1】太田・桐生グループ

ブラジル・ペルー・中国・ベトナムなど多様な国籍の地域住民のみなさんとともに、群馬で安全・安心に生き甲斐をもって暮らす方法と、外国人観光客が日本語で観光を楽しむためのツアーづくりを考えます。

初回講義は、5月13日(日)13時～17時

群馬大学太田キャンパス(太田市本町29-1)4階 研修室1

【2】前橋・高崎グループ

高崎・前橋で開催される街づくりを自治体や企業関係者・交流協会のみなさんと一緒にもりたてていきます。6月9日(土)10日(日)に前橋で開催予定のKing of Pizza のボランティアスタッフとして街づくりを盛り立てるなど、さまざまな計画あり。

初回講義は、5月12日(土)13時～17時

前橋中央公民館(前橋プラザ元気21:前橋市本町2-12-1)502学習室

【1】【2】ともに、5月上旬に2回目以降のスケジュールをメールにてお知らせします。

キャリア開発

【後期集中】 教養教育 LB2917 日本事情D：グローバル地域創生と企業

グローバル優良企業の訪問・経営者との対話を通して、企業が展開するグローバル地域創生について理解します。同時に、自己分析を深め、グローバル地域創生時代の自分自身のキャリア形成について具体的に考えます。長期休業中や土日・祝日を利用して実施します。夏休みに入る前に、予定表と募集の掲示をしますので、注意しておいてください。

ビジネス日本語

【前期集中】 教養教育 LB1912 ビジネス日本語Ⅰ

【前期集中】 教養教育 LB1913 ビジネス日本語Ⅱ

「インターンシップ」に必要な日本語を学びます。

■2つのコースがあります。

- ①「ビジネス日本語Ⅰ」(開講場所:太田市または桐生市)
日本語能力試験N3～N2相当の学生で、主に理科系の学生を対象にします。
- ②「ビジネス日本語Ⅱ」(開講場所:前橋市または高崎市)
日本語能力試験N2～N1相当の学生で、主に文科系の学生を対象にします。

■開講時期は、8月6日(月)～17日(金)のうち5日間程度を予定しています。
日程が決まり次第、メールで連絡をします。

■「ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ」は、それぞれ定員が20名となっています。
学習奨励費(就職促進)を受ける学生を優先し、定員を超える場合は、日本語能力試験の成績や面接等の選考を行う可能性があります。

インターンシップ

**後期集中 教養教育 LB2915 日本事情E
グローバル・インターンシップ・プログラムⅠ**

**後期集中 教養教育 LB2916 日本事情F
グローバル・インターンシップ・プログラムⅡ**

群馬県内のグローバル優良企業でのインターンシップを年間2週間体験します。実習内容は企業によって異なります。個人の関心と企業の受入れニーズのマッチングにより決定します。前期のうちに準備が始まりますので、掲示あるいはメールでの連絡に注意してください。

■次の科目(LB2329)については、群馬大学の教養教育の「学びのリテラシー」の一環として学部1年生のみに開講されます。

**【後期】 教養教育 LB2329
学生のための仕事術「多文化共生のまちづくり」**

地域の企業・行政・ボランティアなど多様な地域のみなさんと一緒に、県産品を使った食のプロモーション、観光インバウンド等のまちづくりに貢献する地域活動に参画します。月1～2回で、土曜または日曜日に開講する予定です。

■以下の3つの科目については、2018年度は群馬大学社会情報学部、または、群馬大学大学院社会情報学研究科の学生のみが開講されます。N1レベルの日本語能力が必要です。

【前期】SB1008 異文化コミュニケーション基礎論

「正確」で「分かりやすい」コミュニケーションとは何か、生まれ育った文化や社会が異なる人々間でのコミュニケーションにおいて、「正確」で「分かりやすく」するためには、どのような点に留意をし、どのような方法でコミュニケーションを取ればいいのかを体験的に学びます。さらに、その学びを、地域活動を通して実践的に応用展開する力も養成します。そのため、土日等を活用した地域実践の参加(全6回程度の予定)も組み込まれます。

【後期】SB5003 異文化コミュニケーション論

場に「ふさわしく」「敬意と親しさ」のあるコミュニケーションとは何か、生まれ育った文化や社会が異なる人々間でのコミュニケーションにおいて、どのように「ふさわしさ」と「敬意と親しさ」は、何に留意し、どのように伝えればよいのかを体験的に学びます。さらに、その学びを、地域活動を通して実践的に応用展開する力も養成します。そのため、土日等を活用した地域実践の参加(全6回程度の予定)も組み込まれます。

【後期集中】大学院社会情報学研究科（修士課程） SMA453 グローカル地域創生特論

人的多様性に富む状況において、互いにとって必要な内容を誤りなくかつ過不足なく伝え合う「正確さ」「分かりやすさ」「ふさわしさ」「敬意と親しさ」に留意したコミュニケーションのはかり方について地域実践における観察データを分析し、その知見をもとにコミュニケーションの質を高めることができるようにします。



■「グローバル・ハタラクラスぐんま」コンソーシアム加盟校



■本プログラムについてのお問い合わせは
群馬大学「グローバル・ハタラクラスぐんま」
プロジェクト推進室まで

E-mail glocalhk@ml.gunma-u.ac.jp

電話 027-220-7382

